

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 12 月 25 日

## 【評価実施概要】

|       |                   |       |                   |
|-------|-------------------|-------|-------------------|
| 事業所番号 | 3870102153        |       |                   |
| 法人名   | 有限会社 イヨメディカル      |       |                   |
| 事業所名  | グループホーム みゆき       |       |                   |
| 所在地   | 松山市御幸二丁目8-16      |       | (電話) 089-922-6011 |
| 管理者   | 篠崎 道子             |       |                   |
| 評価機関名 | 愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班 |       |                   |
| 所在地   | 愛媛県松山市持田町三丁目8-15  |       |                   |
| 訪問調査日 | 平成 20 年 11 月 19 日 | 評価確定日 | 平成 20 年 12 月 26 日 |

【情報提供票より】 (平成 20 年 10 月 28 日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                  |                           |      |
|-------|------------------|---------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 15 年 3 月 28 日 |                           |      |
| ユニット数 | 3 ユニット           | 利用定員数計                    | 27 人 |
| 職員数   | 18 人             | 常勤 18 人, 非常勤 人, 常勤換算 18 人 |      |

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |                 |                |                |
|---------------------|-----------------|----------------|----------------|
| 家賃(平均月額)            | 23,000~36,000 円 | その他の経費(月額)     | 9,000~11,000 円 |
| 敷金                  | 有( )円 ○ 無       |                |                |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( )円 ○ 無       | 有りの場合<br>償却の有無 |                |
| 食材料費                | 朝食              | 280 円          | 昼食 350 円       |
|                     | 夕食              | 400 円          | おやつ 70 円       |
|                     | または1日当たり 円      |                |                |

### (3) 利用者の概要 (平成 20 年 10 月 28 日事業所記入)

|       |         |         |         |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用者人数 | 27 名    | 男性 名    | 女性 27 名 |
| 要介護 1 | 4 名     | 要介護 2   | 6 名     |
| 要介護 3 | 10 名    | 要介護 4   | 7 名     |
| 要介護 5 | 名       | 要支援 2   | 名       |
| 年齢    | 平均 62 歳 | 最低 50 歳 | 最高 95 歳 |

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

|    |    |                    |
|----|----|--------------------|
| 指定 | あり | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 |
| 指定 | なし | 指定認知症対応型通所介護       |
| 届出 | なし | 短期利用型共同生活介護        |
| 加算 | あり | 医療連携体制加算           |

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

民家改修型の1ユニットと、隣接の二階建て2ユニットの、住宅地の中に建つホームである。ホーム周辺は生活しやすい環境で、利用者は落ち着いた生活を送っているが、特に民家改修型ユニットでの生活は、利用者にとって馴染みの生活の継続が可能となっている。近所には町内会長をはじめ地域の世話人等が住むため、ホームへの理解と協力が得られており、運営推進会議がサービスの質の向上に繋がっている。開設して7年半(2ユニットは5年半)が経過し、利用者の機能には低下もみられるが、表情豊かで活動的である。運営者、管理者はともに共通理解をもちながら、日々質の向上に努めている。

## 【質向上への取組状況】

### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

理念については職員間で話し合い、目標を定めて会議やミーティングで共有している。家族等の意見の反映については、細やかに個別対応をすることに努め、意見箱は近々設置する予定にしている。

### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

職員で自己評価に取り組み、各ユニットの責任者がまとめている。責任者は評価の意義を理解したうえで具体的に活用している。今後はさらに職員全体を巻き込んだ取り組みとなることを期待する。

### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

地域の理解や協力があり、比較的スムーズに会議が運営されている。ホームの状況報告、行事報告、お花見を兼ねた親睦会、避難訓練等、様々なテーマについて検討しており、時々のタイムリーな情報提供もある。検討事項についてはできるだけ早急に対応している。

### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

生活の様子、健康状態、要望等については、電話や手紙も含め、日々細やかに家族と情報交換している。相談・苦情については、ホーム内及び公的機関の窓口を明示している。意見箱は近々設置を予定している。

### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

地域の理解と協力があり、散歩や買い物時にはあいさつを交わすなど、地域との良好な関係が築けている。高齢者や子どもたちとの交流もあり、地域の行事への参加や協力も積極的に行っている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 有限会社 イヨメディカル

(ユニット名) みゆき

記入者(管理者)

氏名 篠崎 道子

評価完了日 平成 20 年 10 月 28 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価        | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)            |
|-------------|------|---|--|----------------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 |      |   |  |                            |   |
| 1. 理念と共有    |      |   |  |                            |   |
| 1           | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | (自己評価)<br>事業所独自の理念を“家訓”としてサービスの核(方針)としている。<br><br>(外部評価)<br>開設時より、馴染みやすいよう「家訓」として理念をつくっており、さらに職員間で話し合っってホーム全体や各ユニットの目標を立て、実践に活かしている。   |                            |   |
| 2           | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | (自己評価)<br>スタッフルームなど要所に掲示し、ミーティング時には必ず音読し、徹底に努めている。<br><br>(外部評価)<br>「家訓」及び目標は入り口や居間やスタッフルームに掲示している。ミーティング時に確認し合ったり、採用時には教育し、実践に活かすよう取り組んでいる。毎朝鏡拭きをすることにより、平成20年の目標である「笑顔」の確認にもなっている。 |                            | 職員への意識向けには成果がみられるものの、毎日の中で理念に根ざしたケアが実践できるように努めたい。 |
| 3           |      | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | (自己評価)<br>散歩・買物等日常生活時に「迷惑」を掛けないようにしており、近所の方からは褒められます。  |                            |   |

| 自己評価                         | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |  |  |                            |   |
| 4                            |      | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている      | (自己評価)<br>散歩や外出時などお会いした際には、必ず挨拶を交し合う。自宅に余った姫達磨、個人宅にて大き過ぎる絵画を飾って欲しいと提供されたりしている。   |                            |   |
| 5                            | 3    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている        | (自己評価)<br>ほとんど毎日の散歩で近所の人と顔見知りになり、可愛がられます。<br><br>(外部評価)<br>近所には、町内会長や見守り推進員をはじめ運営推進会議のメンバー等、ホームの運営に理解があり、協力と支援をいただける方が多い。地域行事に参加したり、幼稚園児や高齢者たちとの交流もしている。毎日の散歩時も交流の場となっている。また、ホームがゴミ出しの場所を提供しており、清掃にも努めている。 |                            |   |
| 6                            |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価)<br>微力ですが、社員一同で取り組んでいます。   |                            |   |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |  |  |                            |   |
| 7                            | 4    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる          | (自己評価)<br>各人は評価の意義を理解し、評価項目を通して振り返り、よい機会となっている。<br><br>(外部評価)<br>運営者及び管理者は評価の意義を充分理解しており、ユニットの責任者は評価項目を通して質の評価や改善点の振り返りを行っている。   | ※                          | 今後、評価を通じて明らかとなった改善点については、施設を挙げて、計画的かつ積極的に取り組んでいきたい。<br><br>より評価の意義を深め、日々の実践に活かしていくためにも、全職員を巻き込んで、評価項目の検討や改善点の計画的な実践に取り組んでいくことを期待する。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|--|----------------------------|--|
| 8    | 5    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている         | (自己評価)<br>議題のメインになって、サービスの向上が図れます。<br><br>(外部評価)<br>2か月に1回開催し、ホームの状況報告やタイムリーな情報提供、意見交換等をしている。運営推進会議のメンバーからの情報や意見等については早急に検討している。 |                            |  |
| 9    | 6    | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>研修会に於いて同席し、共に取り組んでいます。<br><br>(外部評価)<br>運営推進会議に参加してもらったり、手続き関係で行き来した際に情報交換するなどしている。また、市職員の実習も受け入れている。                  |                            |  |
| 10   |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br>) 現在は、制度の活用を必要としている利用者はいないが、ミーティングで勉強をしています。   |                            | 今後、研修会などに参加し、勉強したい。                    |
| 11   |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている          | (自己評価)<br>人としていかなる意味においても、虐待は行われるべきではないと理解できている。しかし、法についてはこれから学んでいきたい。   |                            | 高齢者虐待防止関係法について、学ぶ機会を設け周知徹底に努めたい。       |

| 自己評価                   | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |   |   |                            |  |
| 12                     |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている    | (自己評価)<br>契約・解約の際には、利用者やその家族等には必ず十分な説明を行い、理解を得た上でやっている。   |                            |  |
| 13                     |      | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>特に施設長が気を使い、努力されている。   |                            |  |
| 14                     | 7    | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価)<br>各々家族来所時には、利用者の暮らしぶり、健康状態、金銭管理等の報告を行っている。又異変時には早急に管理者や看護師より報告を行っている。<br><br>(外部評価)<br>家族の来訪時に情報交換しており、また必要な場合はその都度手紙や電話での連絡もしている。また、状況の変化については管理者や看護師から報告している。 |                            |  |
| 15                     | 8    | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>問題が発生しないよう、それとなく対処できている。<br><br>(外部評価)<br>家族の来訪時の情報交換や電話での対応で察知できることがあるので、意見等を話しやすくなるよう配慮している。意見箱の必要性も感じており、具体的に設置を予定している。                                    | ※                          | 来訪時に意見、要望、苦情等を受け止めるよう努めており、意見箱の設置も予定しているため、今後もより家族が意見等を言いやすいような工夫について検討を続けることを期待したい。 |

| 自己評価               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 16                 |      | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | (自己評価)<br>月1回のミーティング等の機会では実施されている。  |                            |  |
| 17                 |      | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | (自己評価)<br>管理者・交代要員及び職員で調整している。  |                            |  |
| 18                 | 9    | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価)<br>配慮は何えるが、交代者がスムーズにいかない場合がある。立ち上げた時より、全てのユニット、全ての入居者さんを把握している管理者が一貫したケアを配慮しており、スタッフの交代による利用者さんのダメージは最小限にとどまっています。<br><br>(外部評価)<br>異動時はマニュアルにそって対応しており、ユニットリーダーが指導にあたりながら、交代による影響を少なくするよう配慮している。  |                            | 交代要員の増員を図っている。                         |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |      |  |   |                            |  |
| 19                 | 10   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | (自己評価)<br>研修の案内の掲示等を行い、希望に応じて勤務調整を行い、職員のレベルアップを支援している。<br><br>(外部評価)<br>研修案内を掲示して、勤務を調整しながら職員の希望や上司の勧めで受講している。受講内容の報告や伝達等で学びを共有している。現場を重視した年間教育計画はまだないが、毎月の職員会議で勉強会の時間を設けており、現場の実践に即した内容で、職員の質の向上を目指している。 |                            |  |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 20                               | 11   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価)<br>研修会や勉強会を通じて少しずつ図れている。<br><br>(外部評価)<br>研修会や勉強会を通じて少しずつ交流を深めている。相互に行き来したり話し合うこともできており、相互研修のノートに記載して職員が共有している。 |                            |  |
| 21                               |      | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | (自己評価)<br>親睦会の開催や、勤務表を組む時に連休を折り込み、職員のリラックスタイムを提供している。  |                            |  |
| 22                               |      | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | (自己評価)<br>研修や勉強会の参加、役職の起用、特別手当及び昇給等で感じられる。   |                            |  |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>     |      |   |  |                            |  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |   |  |                            |  |
| 23                               |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | (自己評価)<br>変化があれば分かるので、何が言いたくてしたいのかを聞き、納得されるまで対応している。   |                            |  |
| 24                               |      | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | (自己評価)<br>面会に来られた際に、ご家族とはよく話しができています。  |                            |  |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 25                               |      | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | (自己評価)<br>職員同士で話し合い、すぐに対応している。   |                            |  |
| 26                               | 12   | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価)<br>サービス開始前にご家族と相談しており、変化があれば再度ご家族と相談している。<br><br>(外部評価)<br>本人や家族に来院してもらったり、ホームから自宅や病院等へ訪問するなどして、本人や家族と話し合っって個々の状況に対応している。家族との情報交換をはじめ、協力体制を大切にしている。                         |                            |  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |  |  |                            |  |
| 27                               | 13   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | (自己評価)<br>敬老の精神をもって利用者に相対し、場面によっては教えて頂いたり本人の力を発揮できる機会作りに配慮し、支え合い、共に暮らす関係を築いている過程である。<br><br>(外部評価)<br>共に生活する関係を大切にし、本人の力を発揮できる場面づくりに努めている。職員は、教えてもらうことも多いと感じており、利用者の生活の知恵を大切にしている。 |                            |  |
| 28                               |      | ○本人と共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                 | (自己評価)<br>各々家族来所時には近況を話し合い、利用者を共に支え合う関係として認識して頂けると思う。  |                            |  |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)        |
|------------------------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| 29                                 |      | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | (自己評価)<br>情報交換をしている。   |                            |   |
| 30                                 |      | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | (自己評価)<br>昔話しや子供さんや姉妹、兄弟の事について話すると、特に喜ばれる。たまに電話を掛けてあげると嬉しそうに話している。   |                            |   |
| 31                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | (自己評価)<br>利用者同士の相性や関係を把握し、ときに職員が間に入りフォローすることで、互いに助け合って暮らしているように努めている。  |                            |   |
| 32                                 |      | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価)<br>契約が終了して、更に関わりが必要な方がいない。  |                            | 発生した場合は、考えて対処したい。                             |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |                            |   |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                 |      |  |  |                            |   |
| 33                                 | 14   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                   | (自己評価)<br>利用者との日々の関わりの中で聴き取ったり、本人の言葉の中から見つけて汲み取っていくなどその時々々の思いや意向の把握に努めている。<br><br>(外部評価)<br>利用者との日々の生活の中で、言葉や態度から意向を汲み取り、把握するようにしている。必要に応じて、センサー方式のシートを利用して個々の情報を記録し、共有している。 |                            | 利用者一人ひとりにシートを作り、職員各々が得た情報を記録し、共有できるような方向で検討する |

| 自己評価                                  | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                         |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 34                                    |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | (自己評価)<br>サービス利用者の相談の段階で、十分な聞き取りがまわずできていない。日々の関わりの中で断片を拾い集め、スタッフ間での情報交換や伝達に依り、把握に努めている。   |                            | センター方式、基本情報シート等の活用するなど、具体的に情報収集の手段を検討する。                       |
| 35                                    |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | (自己評価)<br>利用者との日々の関わりの中で、本人の心身状態・有する力等を職員各自の気づきを大切に、共有することで利用者の全体像の把握に努めている。  |                            |  |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |   |   |                            |  |
| 36                                    | 15   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | (自己評価)<br>毎日、ミーティング時にカンファレンスを行い、意見交換して介護計画を作成し、家族に説明の上承認して得ている。<br><br>(外部評価)<br>事前に本人や家族の意向を把握し、カンファレンスで意見交換しながら介護計画を作成している。また、家族や本人に説明や了解を得ている。 |                            | 事前に利用者本人、家族と話し合い、それぞれの意向(気持ち)を介護計画に盛り込んで、利用者のためにより良いものにしていきたい。 |
| 37                                    | 16   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価)<br>介護計画の期間に応じて評価・見直しは行っている。<br><br>(外部評価)<br>介護計画は毎月モニタリングし、半年に一回見直しをするとともに、状況の変化に応じてその都度見直しをしている。   |                            | 利用者の心身状態の変化に応じて、本人家族関係者と話し合い、速やかに新しい介護計画を作成するようにしていきたい。        |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|---|
| 38                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | (自己評価)<br>個別にケース記録を記入し、仕事前には必ず一読し、不明な点等は口頭で申し送り、情報を共有している。しかし、口頭での申し送り内容に比べると記録自体は内容に乏しい観あり。                          |                            | ～ただけの記録ではなく、内容をもっと工夫・充実することが必要ではないかと思う。今後、様式・記録方法など改善していきたい。例) 本人の言葉・気づき・工夫・考察など。 |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |      |  |   |                            |   |
| 39                                 | 17   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | (自己評価)<br>要望に対応できている。<br><br>(外部評価)<br>本人や家族の要望に応じた柔軟な支援に努めている。墓参り、希望の買い物、馴染みの理美容の利用、カラオケ、行事ごとの外出、外泊や帰省、旅行等多岐にわたっている。 |                            |   |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |  |   |                            |   |
| 40                                 |      | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | (自己評価)<br>運営推進会議に民生委員や町内会長さんの出席が得られて、理解を深めて頂いております。   |                            |   |
| 41                                 |      | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | (自己評価)<br>必要に応じて対処可能です。   |                            |   |
| 42                                 |      | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価)<br>必要に応じて協働可能です。   |                            |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|----------------------------|--|
| 43   | 18   | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                           | (自己評価)<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と連携して、適切な医療を受けられるように支援している。異変時には電話して常に連絡・対応できる体制を築いている。<br><br>(外部評価)<br>本人や家族の希望のかかりつけ医と連携を図り、適切な医療を受けられるよう支援している。協力医療機関から2週間に1回の訪問があり、常に連携がとれている。 |                            |  |
| 44   |      | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している                         | (自己評価)<br>週2回、心療内科医の定期往診あり。利用者の心身状態の変化に応じて、(家族と相談・了承の上で) 随時、相談・診断・治療を受けられる。   |                            |  |
| 45   |      | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている  | (自己評価)<br>常勤の看護師により、利用者の日常の健康管理・医療活用の支援をしている。   |                            |  |
| 46   |      | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価)<br>利用者に対して協働及び連携は図れている。  |                            |  |
| 47   | 19   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している              | (自己評価)<br>ミーティングにおいて、施設長より方針については聞いている。<br><br>(外部評価)<br>「ターミナルケア」マニュアルを作成し、職員は方針を理解している。まだ終末期に対応した事例はないが、今後の取り組みに向けて検討を続けていく予定である。   | ※                          | マニュアルにそった具体的な検討や、職員の教育を続けていくことを期待する。   |

| 自己評価                      | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|---------------------------|------|---|--|----------------------------|---|
| 48                        |      | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価)<br>ミーティングの際、施設長より具体的な取り組みについて何度も話し合いをしている。  |                            |   |
| 49                        |      | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | (自己評価)<br>今回、ユニット間異動の利用者に関しては、情報交換を行い、馴染みの職員による継続的ケアを行い、住み替えによるダメージの軽減に努めた。  |                            | ホーム外への住み替え時も利用者のダメージ防止の為に情報提供には協力していきたい |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |   |  |                            |   |
| 1. その人らしい暮らしの支援           |      |   |  |                            |   |
| (1) 一人ひとりの尊重              |      |   |  |                            |   |
| 50                        | 20   | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない  | (自己評価)<br>利用者一人ひとりのプライドやプライバシーを尊重した言葉かけを常に心がけている。居室への出入り・トイレ時など常にノック・声かけをしてから行っている。<br><br>(外部評価)<br>利用者一人ひとりを尊重し、言葉や態度には十分気をつけている。取り扱う書類や記録物の管理も適切に行っている。 |                            |   |
| 51                        |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている  | (自己評価)<br>利用者本人の意志を尊重し、本人の意志力に応じて選択・納得できるように説明・言葉かけに工夫・配慮し、答えを待つ時間を大切にしている。  |                            |   |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 52                            | 21   | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>ケアプランに基づく、個々のペースで生活できるように支援している。その時々で過ごし方を提案して、選んで頂いたり、本人からの希望を声に出して頂けるような雰囲気作りに努めている。<br><br>(外部評価)<br>個々の利用者のペースを大切に、楽しく希望にそった生活が送れる支援を目指している。                   |                            |  |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |      |  |  |                            |  |
| 53                            |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている            | (自己評価)<br>定期的にごまめに訪問美容を利用して、思い思いのスタイルを楽しまれている。その人らしい身だしなみ・おしゃれができるように本人に選択をまかせてさりげなくフォローしている。  |                            |  |
| 54                            | 22   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | (自己評価)<br>利用者の好み・力に応じて、献立作り・準備・食事・片付けを一緒に行っている。<br><br>(外部評価)<br>利用者の好みを取り入れた献立を立て、調理、配膳、片付け等力に応じて一緒に作業している。職員と利用者は共に食事をしながら、できるだけ経口摂取するよう必要に応じて支援している。時には手作り弁当持参で外出することもある。 |                            |  |
| 55                            |      | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している            | (自己評価)<br>①行事時には飲酒も楽しまれている方もいる。②おやつはリクエストを聞いたりして手作りしている。③パンやお菓子、密柑など望まれる方には対応している。④喫煙に関しては、健康上・管理上の問題もあり、支援しにくい。   |                            |  |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 56                            |      | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している       | (自己評価)<br>一人ひとりの排泄状態に応じて、布パンツ・紙パンツ・パットを組み合わせて使用し、スムーズな排泄ができるように支援している。  |                            |  |
| 57                            | 23   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | (自己評価)<br>職員配置の問題もあり、曜日・時間帯は決まっているが、湯温・湯量・習慣等はできるだけ利用者の希望に添えるよう配慮している。<br><br>(外部評価)<br>午後の時間帯に入浴している。利用者の具体的な希望にそって支援し、夏は夜にシャワーを利用する利用者もいる。行動が少しずつ制限されて来ている利用者もいるが、必要に応じて2人の介助で入浴するなど、安全に楽しく入浴できるよう配慮している。 |                            |  |
| 58                            |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                  | (自己評価)<br>寝つきの悪い方には、側に付き添って安眠できるように配慮している。一人ひとりの生活ペースや体調等により、思い思いに休息できるように支援している。   |                            | 昼夜逆転傾向のある利用者に対しての支援を考えていきたい。           |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |      |   |   |                            |  |
| 59                            | 24   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価)<br>一人ひとりの好み・力に応じて、役割や楽しみの中で力を発揮できる場面を演出・支援している。<br><br>(外部評価)<br>一人ひとりの生活歴を知り、力量に応じた役割や楽しみごとで充実した生活を送れるような支援に心がけている。草抜き、掃除、洗濯物たたみ、食事の準備や片付け、新聞紙折等個々に対応している。  |                            |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                           |
|------|------|--|--|----------------------------|--|
| 60   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | (自己評価)<br>利用者のお金は、現在事業所で管理している。  |                            | お金を持つことの大切さ・遣う楽しさもあるので、お買物ツアーを企画したり、一人ひとりの力で希望に応じて支援していく方向で検討する。 |
| 61   | 25   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | (自己評価)<br>日常的に一人ひとりの希望に応じて、散歩や買物に出る等戸外に出かけられるように支援している。(行くか行かないか、行き先はある程度限定されている。)<br><br>(外部評価)<br>毎日1回は戸外に出かけられるよう配慮している。利用者の個々の希望に応じて散歩や買い物に出ている。利用者の機能が少しずつ低下しており、全員で外出することが困難となっているが、個別に支援している。 |                            |  |
| 62   |      | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価)<br>お墓参り、お寺(石手寺等)、菊花展、桜見物、温泉、足湯(道後)、大洲城、鹿島、大衆演劇場、ドライブなど外出を支援している。また、個別的にも支援して京都へ行きました。   |                            |  |
| 63   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                           | (自己評価)<br>利用者よりの希望に応じて電話をかける等の支援は行っている。  |                            |  |
| 64   |      | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している            | (自己評価)<br>家族や馴染みの人が、気軽に訪問して頂けるように雰囲気作り・接遇に配慮している。  |                            |  |

| 自己評価            | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)             |
|-----------------|------|---|---|----------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 |      |   |   |                            |  |
| 65              |      | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>全職員で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。   |                            | “～具体的行為”について改めて学び、正しく理解して実践していきたい。                 |
| 66              | 26   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | (自己評価)<br>居室には施錠していない。<br><br>(外部評価)<br>職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアの実践をしている。    |                            |  |
| 67              |      | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | (自己評価)<br>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握しながら、職員間で声かけ合って目くばり・気くばり・心くばりに努めている。 |                            |  |
| 68              |      | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | (自己評価)<br>注意の必要な物品は職員により管理されているが、一人ひとりの力・希望に応じて貸し出す（使用時は見守り、返却確認）ことにしている。         |                            |  |
| 69              |      | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | (自己評価)<br>ヒヤリハット報告書を作成し、事故原因となるリスク解消について、職員間で話し合い事故防止に努めている。                      |                            | 今後、利用者一人ひとりの状態に応じて、どんな事故が起こりうるか、職員間で話し合い事故防止に努めたい。 |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                    |
|----------------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| 70                         |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                 | (自己評価)<br>事業所内の看護師により、応急手当等の訓練・研修をいくつか、マニュアル化している。消防署の協力を得て「救命」講習を実施(修了)しました。  |                            |   |
| 71                         | 27   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている   | (自己評価)<br>消防署が近く、積極的及び具体的に協力して頂いております。<br><br>(外部評価)<br>年2回の防災訓練を消防署の協力を得て実施している。地域の協力を得られる体制は整っている。現在のところ、夜間を想定しての訓練は実施していない。 | ※                          | 夜間を想定しての具体的な訓練実施を期待する。また、非常災害時の対策として具体的な訓練や備蓄を含めた対策を検討し、さらにマニュアルの充実を期待する。 |
| 72                         |      | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | (自己評価)<br>一人ひとりの起こり得るリスクについて、看護師と管理者より家族と話しています。   |                            |   |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |      |  |  |                            |   |
| 73                         |      | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | (自己評価)<br>毎日、定時にバイタルチェックを行い、一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努めている。又気付いた際には速やかに看護師・かかりつけ医に報告を行っている。   |                            | 利用者一人ひとりのふだんの状態をよく知り、早期発見に努める。  |
| 74                         |      | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | (自己評価)<br>職員は、医療ノートにより一人ひとりが使用している薬についての情報を理解・共有し、利用者の力に応じて支援し、飲み切るまで見守り確認を行っている。又、症状の変化の確認に努め、看護師に報告している。                     |                            |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                              |
|------|------|---|--|----------------------------|---|
| 75   |      | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる    | (自己評価)<br>職員は、便秘予防と対応のために薬に頼るのではなく、繊維質の多い献立や冷乳を飲んだり、温浴法・腹部マッサージを施したり、身体を動かす等の工夫・提案・支援を行っている。   |                            |   |
| 76   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている              | (自己評価)<br>口腔ケアの大切さを理解し、毎食後一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援を行っている。  |                            | ある利用者は、“怖いから自分でやります”と支援困難な方もいらっしゃるのので、今後その方の支援について職員で話し合っ取り組んでいきたい。 |
| 77   | 28   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価)<br>一汁三菜を基本献立として、栄養バランス・水分量が目通じて確保できるよう工夫している。必要時には水分量チェックを行い、水分量の把握に努めている。<br><br>(外部評価)<br>職員が一汁三菜を基準として献立をたてている。栄養バランスに注意しており、時に保健センターの栄養士にチェックしてもらっている。必要な利用者には水分チェックもしている。一人ひとりの状態や力や習慣に応じた支援を職員間で共有し、実践している。 |                            | 保健センターの栄養士などにより、栄養アセスメント・塩分量のチェックを実施し、献立作りに活かしていきたい。                |
| 78   |      | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）       | (自己評価)<br>感染症に対するマニュアルを作成し、それに従って予防・防止に努めている。特に年間を通じて毎日、ノロウイルスに対しての清掃（手すり、車椅子、歩行器や椅子など）を行なっている。食事前に手指消毒をしている。  |                            |   |
| 79   |      | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている      | (自己評価)<br>献立を変えたりすることで、新鮮な食材を早めに使い切れるように工夫している。毎日使用した台所用品は、用途・材質に適した方法で消毒を行っている。   |                            |   |

| 自己評価                    | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)            |
|-------------------------|------|---|---|----------------------------|---|
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |      |   |   |                            |   |
| (1) 居心地のよい環境づくり         |      |   |   |                            |   |
| 80                      |      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | (自己評価)<br>玄関回りには、四季折々に花が見れるよう工夫・手入れされており、段差にはスロープが設けられている。  |                            |   |
| 81                      | 29   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>散歩で摘んだ草花を飾ったり、季節感のある品を飾ったりして生活感や季節感のある暮らしを演出する工夫をしている。<br><br>(外部評価)<br>3ユニットの1つは民家改修型で、生活しやすいよう細々とした工夫が加えられている。ホームのあちこちに草花が生けてあり、インテリアでも季節を感じることができる。陽射しや臭いにも配慮しており、トイレや浴室等の手すりや滑り止めをはじめ、機能が低下している利用者には必要に応じて用具や機器を利用するなど、安全に配慮している。 |                            |   |
| 82                      |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | (自己評価)<br>リビングや廊下には、椅子やソファを配置して、思い思いの場所でくつろげるように工夫している。   |                            |   |
| 83                      | 30   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | (自己評価)<br>馴染みの家具・衣類・お仏壇などを自由に持ち込んで頂いて本人が居心地よい空間作りができています。<br><br>(外部評価)<br>家族の協力を得ながら、使い慣れた馴染みのものを持ち込んでいる。タンス、衣装掛け、仏壇、家族の写真、テレビ、三面鏡、絵や書等、それぞれに本人の好みの部屋となる様工夫している。   |                            | 一部、本人の状態により実現できていない居室もある。今後どうするかご家族とも相談して考えていきたい。 |

| 自己評価                    | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 84                      |      | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価)<br>常に換気には気を配り、設定温度を設けて、それに応じてクーラー等の使用により快適な環境を作っている。又、利用者一人ひとりの好み・状態に応じてこまめに行っている |                            |  |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |      |   |  |                            |  |
| 85                      |      | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している         | (自己評価)<br>トイレ・廊下など要所には手すりを設置して、安全でできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。                              |                            |  |
| 86                      |      | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                   | (自己評価)<br>居室には目線の高さによくわかる表札が掛かっている。又、居室のレイアウトは混乱を防ぐため、変更しないようにしている。                      |                            |  |
| 87                      |      | ○建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                           | (自己評価)<br>建物の外周りは、プランターや植木があり、季節により花や緑が楽しめるようになっている。しかし、現在、殆んどの利用者は見て楽しむためのものに限定されている。   |                            |  |

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

| V. サービスの成果に関する項目 |  |   |  |
|------------------|--|---|--|
| 項目               | 取り組みの成果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                      | 判断した具体的根拠   |  |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ① ほぼ全ての利用者の<br>(自己 ② 利用者の2/3くらいの<br>評価) ③ 利用者の1/3くらいの<br>④ ほとんど掴んでいない | 日々の関わりの中で、利用者の思いの聴き取りに努めていますが、十分にできていない方もいます。その時々思いを受け入れて、大切にしていきたいと思えます。ご家族に、利用者さんが以前から良く話されていた事、望まれていた事、楽しみにされていた事、好きな事、好物などをお聴きして利用者さんへの理解を深めるようにしています。 |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | (自己 ① 毎日ある<br>評価) ② 数日に1回程度ある<br>③ たまにある<br>④ ほとんどない                  | 散歩に出かけた時など、世間話をしながらゆったりと過ごしている。ところが、ホームでは職員は立ち働いている姿が忙しく感じられているのではないのでしょうか。立ち止まり、手を休めて、腰を落ち着けて寄り添う時間を増やしていく。   |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない    | 利用者は、思い思いのペースで暮らしていると思う。ホームの一日の流れに随分と馴染んでおられるように感じられる。   |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない    | いろいろな場面で、笑顔がみられます。もっと多くの笑顔がみられ、楽しんで持てる力を発揮できるような場面作りを支援していきたい。   |
| 92               | 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている                           | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない    | 季節(桜、菊、梅)によって、出来るだけ応じていっている。11月に「動物園」へ行く予定です。  |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない    | 職員は、利用者の日頃の様子・状態を把握して、常に見守りを行っている。異変時には、速やかに管理者・看護師に報告、かかりつけ医に連絡している。夜間では、かかりつけ医との連絡体制ができています。   |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない    | 利用者の要望や状況に応じ、職員間で調整したり、申し合わせ、共有することにより、可能なかぎり柔軟に支援している。  |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | (自己 ① ほぼ全ての家族と<br>評価) ② 家族の2/3くらいと<br>③ 家族の1/3くらいと<br>④ ほとんどできていない    | 面会時などお話を伺うようにしているが、家族により利用者との関係に温度差があり、物理的理由等により頻度にも差があるため、充分とは言いがたい。  |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | (自己 ① ほぼ毎日のように<br>評価) ② 数日に1回程度<br>③ たまに<br>④ ほとんどない                  | 入居者さんの近所だった方や、お友達だった方や近くの幼稚園児が来てくれる。   |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                                     | 判断した具体的根拠   |
|-----|---|---|---|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 1 大に増えている<br>(自己 ② 少しずつ増えている<br>評価) 3 あまり増えていない<br>4 全くいない            | 町内会長様からは、庭園やイルミネーションを見に来るよう誘っていただき、高齢見守り員様からは、入居者の紹介を受けております。 |
| 98  | 職員は、活き活きと働いている  | 1 ほぼ全ての職員が<br>(自己 ② 職員の2/3くらいが<br>評価) 3 職員の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない       | 職員の確保・定着が難しい。モチベーションに影響していると思います。                             |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | 1 ほぼ全ての利用者が<br>(自己 ② 利用者の2/3くらいが<br>評価) 3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    | 何をもって満足とするかは、一人ひとり違っていると思うが、プラスアルファの部分が今後の課題ではないかと思う。         |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | 1 ほぼ全ての家族等が<br>(自己 ② 家族等の2/3くらいが<br>評価) ③ 家族等の1/3くらいが<br>4 ほとんどできていない | 謙虚にサービスの向上を図っていかねばと思う。  |

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

室温、窓の開閉、寝具、衣類、身体上の清潔、食事内容などなど身内にも優る、行き届いた細やかな配慮(心配り)がなされており、認知症の対応も服薬に頼らない寄り添う介護を心掛けているグループホームです。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 有限会社 イヨメディカル

(ユニット名) みゆき1F

記入者(管理者)  
氏名 篠崎 道子

評価完了日 平成 20 年 10 月 28 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価               | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)            |
|--------------------|------|---|--|----------------------------|---|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |      |   |  |                            |   |
| <b>1. 理念と共有</b>    |      |   |  |                            |   |
| 1                  | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | (自己評価)<br>事業所独自の理念を“家訓”としてサービスの核(方針)としている。<br><br>(外部評価)<br>開設時より、馴染みやすいよう「家訓」として理念をつくっており、さらに職員間で話し合っってホーム全体や各ユニットの目標を立て、実践に活かしている。   |                            |   |
| 2                  | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | (自己評価)<br>スタッフルームなど要所に掲示し、ミーティング時には必ず音読し、徹底に努めている。<br><br>(外部評価)<br>「家訓」及び目標は入り口や居間やスタッフルームに掲示している。ミーティング時に確認し合ったり、採用時には教育し、実践に活かすよう取り組んでいる。毎朝鏡拭きをすることにより、平成20年の目標である「笑顔」の確認にもなっている。 |                            | 職員への意識向けには成果がみられるものの、毎日の中で理念に根ざしたケアが実践できるように努めたい。 |
| 3                  |      | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | (自己評価)<br>散歩、買物等日常生活時に「迷惑」を掛けないようにしており、近所の方からは褒められます。  |                            |   |

| 自己評価                         | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |  |  |                            |   |
| 4                            |      | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている      | (自己評価)<br>散歩や外出時などお会いした際には、必ず挨拶を交し合う。自宅に余った姫達磨、個人宅にて大き過ぎる絵画を飾って欲しいと提供されたりしている。   |                            |   |
| 5                            | 3    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている        | (自己評価)<br>ほとんど毎日の散歩で近所の人と顔見知りになり、可愛がられます。<br><br>(外部評価)<br>近所には、町内会長や見守り推進員をはじめ運営推進会議のメンバー等、ホームの運営に理解があり、協力と支援をいただける方が多い。地域行事に参加したり、幼稚園児や高齢者たちとの交流もしている。毎日の散歩時も交流の場となっている。また、ホームがゴミ出しの場所を提供しており、清掃にも努めている。 |                            |   |
| 6                            |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価)<br>微力ですが、社員一同で取り組んでいます。   |                            |   |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |  |  |                            |   |
| 7                            | 4    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる          | (自己評価)<br>各人は評価の意義を理解し、評価項目を通して振り返り、よい機会となっている。<br><br>(外部評価)<br>運営者及び管理者は評価の意義を充分理解しており、ユニットの責任者は評価項目を通して質の評価や改善点の振り返りを行っている。   | ※                          | 今後、評価を通じて明らかとなった改善点については、施設を挙げて、計画的かつ積極的に取り組んでいきたい。<br><br>より評価の意義を深め、日々の実践に活かしていくためにも、全職員を巻き込んで、評価項目の検討や改善点の計画的な実践に取り組んでいくことを期待する。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|--|----------------------------|--|
| 8    | 5    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている         | (自己評価)<br>議題のメインになって、サービスの向上が図れます。<br><br>(外部評価)<br>2か月に1回開催し、ホームの状況報告やタイムリーな情報提供、意見交換等をしている。運営推進会議のメンバーからの情報や意見等については早急に検討している。 |                            |  |
| 9    | 6    | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>研修会に於いて同席し、共に取り組んでいます。<br><br>(外部評価)<br>運営推進会議に参加してもらったり、手続き関係で行き来した際に情報交換するなどしている。また、市職員の実習も受け入れている。                  |                            |  |
| 10   |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br>現在は、制度の活用を必要としている利用者はいないが、ミーティングで勉強をしています。   |                            | 今後、研修会などに参加し、勉強したい。                    |
| 11   |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている          | (自己評価)<br>人としていかなる意味においても、虐待は行われるべきではないと理解できている。しかし、法についてはこれから学んでいきたい。   |                            | 高齢者虐待防止関係法について、学ぶ機会を設け周知徹底に努めたい。       |

| 自己評価                   | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |   |   |                            |  |
| 12                     |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている    | (自己評価)<br>契約・解約の際には、利用者やその家族等には必ず十分な説明を行い、理解を得た上でやっている。   |                            |  |
| 13                     |      | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>特に施設長が気を使い、努力されている。   |                            |  |
| 14                     | 7    | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価)<br>各々家族来所時には、利用者の暮らしぶり、健康状態、金銭管理等の報告を行っている。又異変時には早急に管理者や看護師から報告を行っている。<br><br>(外部評価)<br>家族の来訪時に情報交換しており、また必要な場合はその都度手紙や電話での連絡もしている。また、状況の変化については管理者や看護師から報告している。 |                            |  |
| 15                     | 8    | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>問題が発生しないよう、それとなく対処できている。<br><br>(外部評価)<br>家族の来訪時の情報交換や電話での対応で察知できることがあるので、意見等を話しやすくなるよう配慮している。意見箱の必要性も感じており、具体的に設置を予定している。                                    | ※                          | 来訪時に意見、要望、苦情等を受け止めるよう努めており、意見箱の設置も予定しているため、今後もより家族が意見等を言いやすいような工夫について検討を続けることを期待したい。 |

| 自己評価        | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)         |
|-------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 16          |      | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | (自己評価)<br>月1回のミーティング等の機会で行われている。  |                            |  |
| 17          |      | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | (自己評価)<br>管理者・交代要員及び職員で調整している。  |                            |  |
| 18          | 9    | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価)<br>配慮は伺えるが、交代者がスムーズにいかない場合がある。立ち上げた時より、全てのユニット、全ての入居者さんを把握している管理者が一貫したケアを配慮しており、スタッフの交代による利用者さんのダメージは最小限にとどまっています。<br><br>(外部評価)<br>異動時はマニュアルにそって対応しており、ユニットリーダーが指導にあたりながら、交代による影響を少なくするよう配慮している。  |                            | 交代要員の増員を図っている。                                 |
| 5. 人材の育成と支援 |      |  |   |                            |  |
| 19          | 10   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | (自己評価)<br>研修の案内の掲示等を行い、希望に応じて勤務調整を行い、職員のレベルアップを支援している。<br><br>(外部評価)<br>研修案内を掲示して、勤務を調整しながら職員の希望や上司の勧めで受講している。受講内容の報告や伝達等で学びを共有している。現場を重視した年間教育計画はまだないが、毎月の職員会議で勉強会の時間を設けており、現場の実践に即した内容で、職員の質の向上を目指している。 |                            | 本年は、勤務体制に研修を組み込み、より積極的な受講を支援し、職員のレベルアップを図っている。 |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 20                               | 11   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価)<br>研修会や勉強会を通じて少しずつ図れている。他のGHとグルーピングを行なって交流し、良いところを学び合っている。<br><br>(外部評価)<br>研修会や勉強会を通じて少しずつ交流を深めている。相互に行き来したり話し合うこともできており、相互研修のノートに記載して職員が共有している。 |                            |  |
| 21                               |      | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | (自己評価)<br>親睦会の開催や、勤務表を組む時に連休を折り込み、職員のリラックスタイムを提供している。  |                            |  |
| 22                               |      | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | (自己評価)<br>研修や勉強会の参加、役職の起用、特別手当及び昇給等で感じられる。   |                            |  |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>     |      |   |  |                            |  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |   |  |                            |  |
| 23                               |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | (自己評価)<br>変化があれば分かるので、何が言いたくてしたいのかを聞き、納得されるまで対応している。   |                            |  |
| 24                               |      | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | (自己評価)<br>面会に来られた際に、ご家族とはよく話しができています。  |                            |  |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 25                               |      | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | (自己評価)<br>職員同士で話し合い、すぐに対応している。   |                            |  |
| 26                               | 12   | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価)<br>サービス開始前にご家族と相談しており、変化があれば再度ご家族と相談している。<br><br>(外部評価)<br>本人や家族に来院してもらったり、ホームから自宅や病院等へ訪問するなどして、本人や家族と話し合っって個々の状況に対応している。家族との情報交換をはじめ、協力体制を大切にしている。                         |                            |  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |  |  |                            |  |
| 27                               | 13   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | (自己評価)<br>敬老の精神をもって利用者に相対し、場面によっては教えて頂いたり本人の力を発揮できる機会作りに配慮し、支え合い、共に暮らす関係を築いている過程である。<br><br>(外部評価)<br>共に生活する関係を大切にし、本人の力を発揮できる場面づくりに努めている。職員は、教えてもらうことも多いと感じており、利用者の生活の知恵を大切にしている。 |                            |  |
| 28                               |      | ○本人と共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                 | (自己評価)<br>各々家族来所時には近況を話し合い、利用者を共に支え合う関係として認識して頂けると思う。  |                            |  |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)         |
|------------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 29                                 |      | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | (自己評価)<br>情報交換をしている。   |                            |  |
| 30                                 |      | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | (自己評価)<br>昔話しや子供さんや姉妹、兄弟の事について話すると、特に喜ばれる。たまに電話を掛けてあげると嬉しそうに話している。   |                            |  |
| 31                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | (自己評価)<br>利用者同士の相性や関係を把握し、ときに職員が間に入りフォローすることで、互いに助け合って暮らしているように努めている。  |                            |  |
| 32                                 |      | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価)<br>契約が終了して、更に関わりが必要な方がいない。  |                            | 発生した場合は、考えて対処したい。                              |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |                            |  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                 |      |  |  |                            |  |
| 33                                 | 14   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                   | (自己評価)<br>利用者との日々の関わりの中で聴き取ったり、本人の言葉の中から見つけて汲み取っていくなどその時々のお思いや意向の把握に努めている。<br><br>(外部評価)<br>利用者との日々の生活の中で、言葉や態度から意向を汲み取り、把握するようにしている。必要に応じて、センサー方式のシートを利用して個々の情報を記録し、共有している。 |                            | 利用者一人ひとりにシートを作り、職員各々が得た情報を記録し、共有できるような方向で検討する。 |

| 自己評価                           | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                         |
|--------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 34                             |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | (自己評価)<br>サービス利用者の相談の段階で、十分な聞き取りがまわずできていない。日々の関わりの中で断片を拾い集め、スタッフ間での情報交換や伝達に依り、把握に努めている。   |                            | センター方式、基本情報シート等の活用するなど、具体的に情報収集の手段を検討する。                       |
| 35                             |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | (自己評価)<br>利用者との日々の関わりの中で、本人の心身状態・有する力等を職員各自の気づきを大切に、共有することで利用者の全体像の把握に努めている。  |                            |  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |      |   |   |                            |  |
| 36                             | 15   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | (自己評価)<br>毎日、ミーティング時にカンファレンスを行い、意見交換して介護計画を作成し、家族に説明の上承認して得ている。<br><br>(外部評価)<br>事前に本人や家族の意向を把握し、カンファレンスで意見交換しながら介護計画を作成している。また、家族や本人に説明や了解を得ている。 |                            | 事前に利用者本人、家族と話し合い、それぞれの意向(気持ち)を介護計画に盛り込んで、利用者のためにより良いものにしていきたい。 |
| 37                             | 16   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価)<br>介護計画の期間に応じて評価・見直しは行っている。<br><br>(外部評価)<br>介護計画は毎月モニタリングし、半年に一回見直しをするとともに、状況の変化に応じてその都度見直しをしている。   |                            | 利用者の心身状態の変化に応じて、本人家族関係者と話し合い、速やかに新しい介護計画を作成するようにしていきたい。        |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|---|
| 38                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | (自己評価)<br>個別にケース記録を記入し、仕事前には必ず一読し、不明な点等は口頭で申し送り、情報を共有している。しかし、口頭での申し送り内容に比べると記録自体は内容に乏しい観あり。                          |                            | ～ただけの記録ではなく、内容をもっと工夫・充実することが必要ではないかと思う。今後、様式・記録方法など改善していきたい。例) 本人の言葉・気づき・工夫・考察など。 |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |      |  |   |                            |   |
| 39                                 | 17   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | (自己評価)<br>要望に対応できている。<br><br>(外部評価)<br>本人や家族の要望に応じた柔軟な支援に努めている。墓参り、希望の買い物、馴染みの理美容の利用、カラオケ、行事ごとの外出、外泊や帰省、旅行等多岐にわたっている。 |                            |   |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |  |   |                            |   |
| 40                                 |      | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | (自己評価)<br>運営推進会議に民生委員や町内会長さんの出席が得られて、理解を深めて頂いております。   |                            |   |
| 41                                 |      | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | (自己評価)<br>必要に応じて対処可能です。   |                            |   |
| 42                                 |      | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価)<br>必要に応じて協働可能です。   |                            |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|----------------------------|--|
| 43   | 18   | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                          | (自己評価)<br>本人及び家族等の希望を大切にして、納得を得られたかかりつけ医と連携して、適切な医療を受けられるように支援している。異変時には電話して常に連絡・対応できる体制を築いている。<br><br>(外部評価)<br>本人や家族の希望のかかりつけ医と連携を図り、適切な医療を受けられるよう支援している。協力医療機関から2週間に1回の訪問があり、常に連携がとれている。 |                            |  |
| 44   |      | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している                         | (自己評価)<br>週2回、心療内科医の定期往診あり。利用者の心身状態の変化に応じて、(家族と相談・了承の上で) 随時、相談・診断・治療を受けられる。   |                            |  |
| 45   |      | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている  | (自己評価)<br>常勤の看護師により、利用者の日常の健康管理・医療活用の支援をしている。   |                            |  |
| 46   |      | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価)<br>利用者に対して協働及び連携は図れている。  |                            |  |
| 47   | 19   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している              | (自己評価)<br>ミーティングにおいて、施設長より方針については聞いている。<br><br>(外部評価)<br>「ターミナルケア」マニュアルを作成し、職員は方針を理解している。まだ終末期に対応した事例はないが、今後の取り組みに向けて検討を続けていく予定である。   | ※                          | マニュアルにそった具体的な検討や、職員の教育を続けていくことを期待する。   |

| 自己評価                      | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|---------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 48                        |      | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価)<br>ミーティングの際、施設長より具体的な取り組みについて何度も話し合いをしている。  |                            |  |
| 49                        |      | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | (自己評価)<br>今回、ユニット間異動の利用者に関しては、情報交換を行い、馴染みの職員による継続的ケアを行い、住み替えによるダメージの軽減に努めた。  |                            | ホーム外への住み替え時も利用者のダメージ防止の為に情報提供には協力していきたい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |   |  |                            |  |
| 1. その人らしい暮らしの支援           |      |   |  |                            |  |
| (1) 一人ひとりの尊重              |      |   |  |                            |  |
| 50                        | 20   | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない  | (自己評価)<br>利用者一人ひとりのプライドやプライバシーを尊重した言葉かけを常に心がけている。居室への出入り・トイレ時など常にノック・声かけをしてから行っている。<br><br>(外部評価)<br>利用者一人ひとりを尊重し、言葉や態度には十分気をつけている。取り扱う書類や記録物の管理も適切に行っている。 |                            |  |
| 51                        |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている  | (自己評価)<br>利用者本人の意志を尊重し、本人の意志力に応じて選択・納得できるように説明・言葉かけに工夫・配慮し、答えを待つ時間を大切にしている。  |                            |  |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                      |
|-------------------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| 52                            | 21   | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>ケアプランに基づく、個々のペースで生活できるように支援している。その時々で過ごし方を提案して、選んで頂いたり、本人からの希望を声に出して頂けるような雰囲気作りに努めている。<br><br>(外部評価)<br>個々の利用者のペースを大切にして、楽しく希望にそった生活が送れる支援を目指している。                 |                            |   |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |      |  |  |                            |   |
| 53                            |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている            | (自己評価)<br>定期的にごまめに訪問美容を利用して、思い思いのスタイルを楽しまれている。その人らしい身だしなみ・おしゃれができるように本人に選択をまかせてさりげなくフォローしている。  |                            |   |
| 54                            | 22   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | (自己評価)<br>利用者の好み・力に応じて、献立作り・準備・食事・片付けを一緒に行っている。<br><br>(外部評価)<br>利用者の好みを取り入れた献立を立て、調理、配膳、片付け等力に応じて一緒に作業している。職員と利用者は共に食事をしながら、できるだけ経口摂取するよう必要に応じて支援している。時には手作り弁当持参で外出することもある。 |                            |   |
| 55                            |      | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している            | (自己評価)<br>①行事時には飲酒も楽しまれている方もいる。②おやつはリクエストを聞いたりして手作りしている。③パンやお菓子、密柑など望まれる方には対応している。④喫煙に関しては、健康上・管理上の問題もあり、支援しにくい。   |                            | 今後は喫煙される入居者の入居には喫煙を好まない入居者の気持ちにも対応しながらリビングの一隅での喫煙を検討して行きたい。 |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 56                            |      | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している       | (自己評価)<br>一人ひとりの排泄状態に応じて、布パンツ・紙パンツ・パットを組み合わせて使用し、スムーズな排泄ができるように支援している。  |                            |  |
| 57                            | 23   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | (自己評価)<br>職員配置の問題もあり、曜日・時間帯は決まっているが、湯温・湯量・習慣等はできるだけ利用者の希望に添えるよう配慮している。<br><br>(外部評価)<br>午後の時間帯に入浴している。利用者の具体的な希望にそって支援し、夏は夜にシャワーを利用する利用者もいる。行動が少しずつ制限されて来ている利用者もいるが、必要に応じて2人の介助で入浴するなど、安全に楽しく入浴できるよう配慮している。 |                            |  |
| 58                            |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                  | (自己評価)<br>寝つきの悪い方には、側に付き添って安眠できるように配慮している。一人ひとりの生活ペースや体調等により、思い思いに休息できるように支援している。   |                            | 昼夜逆転傾向のある利用者に対しての支援を考えていきたい。           |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |      |   |   |                            |  |
| 59                            | 24   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価)<br>一人ひとりの好み・力に応じて、役割や楽しみの中で力を発揮できる場면을演出・支援している。<br><br>(外部評価)<br>一人ひとりの生活歴を知り、力量に応じた役割や楽しみごとで充実した生活を送れるような支援に心がけている。草抜き、掃除、洗濯物たたみ、食事の準備や片付け、新聞紙折等個々に対応している。  |                            |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                           |
|------|------|--|--|----------------------------|--|
| 60   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | (自己評価)<br>利用者のお金は、現在事業所で管理している。  |                            | お金を持つことの大切さ・遣う楽しさもあるので、お買物ツアーを企画したり、一人ひとりの力で希望に応じて支援していく方向で検討する。 |
| 61   | 25   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | (自己評価)<br>日常的に一人ひとりの希望に応じて、散歩や買物に出る等戸外に出かけられるように支援している。(行くか行かないか、行き先はある程度限定されている。)<br><br>(外部評価)<br>毎日1回は戸外に出かけられるよう配慮している。利用者の個々の希望に応じて散歩や買い物に出ている。利用者の機能が少しずつ低下しており、全員で外出することが困難となっているが、個別に支援している。 |                            |  |
| 62   |      | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価)<br>お墓参り、お寺(石手寺等)、菊花展、桜見物、温泉、足湯(道後)、大洲城、鹿島、大衆演劇場、ドライブなど外出を支援している。  |                            |  |
| 63   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                           | (自己評価)<br>利用者よりの希望に応じて電話をかける等の支援は行っている。  |                            |  |
| 64   |      | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している            | (自己評価)<br>家族や馴染みの人が、気軽に訪問して頂けるように雰囲気作り・接遇に配慮している。  |                            |  |

| 自己評価            | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)             |
|-----------------|------|---|---|----------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 |      |   |   |                            |  |
| 65              |      | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>全職員で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。緊急やむを得ない場合は説明し、同意書を家族より取り付けている。                  |                            | “～具体的行為”について改めて学び、正しく理解して実践していきたい。                 |
| 66              | 26   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | (自己評価)<br>居室には施錠していない。<br><br>(外部評価)<br>職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアの実践をしている。    |                            |  |
| 67              |      | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | (自己評価)<br>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握しながら、職員間で声かけ合って目くばり・気くばり・心くばりに努めている。 |                            |  |
| 68              |      | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | (自己評価)<br>注意の必要な物品は職員により管理されているが、一人ひとりの力・希望に応じて貸し出す（使用時は見守り、返却確認）ことにしている。         |                            |  |
| 69              |      | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | (自己評価)<br>ヒヤリハット報告書を作成し、事故原因となるリスク解消について、職員間で話し合い事故防止に努めている。                      |                            | 今後、利用者一人ひとりの状態に応じて、どんな事故が起こりうるか、職員間で話し合い事故防止に努めたい。 |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                    |
|----------------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| 70                         |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                 | (自己評価)<br>事業所内の看護師により、応急手当等の訓練・研修を行いつつ、マニュアル化している。消防署の協力を得て「救命」講習を実施(修了)しました。  |                            |   |
| 71                         | 27   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている   | (自己評価)<br>消防署が近く、積極的及び具体的に協力して頂いております。<br><br>(外部評価)<br>年2回の防災訓練を消防署の協力を得て実施している。地域の協力を得られる体制は整っている。現在のところ、夜間を想定しての訓練は実施していない。 | ※                          | 夜間を想定しての具体的な訓練実施を期待する。また、非常災害時の対策として具体的な訓練や備蓄を含めた対策を検討し、さらにマニュアルの充実を期待する。 |
| 72                         |      | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | (自己評価)<br>一人ひとりの起こり得るリスクについて、看護師と管理者より家族と話しています。   |                            |   |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |      |  |  |                            |   |
| 73                         |      | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | (自己評価)<br>毎日、定時にバイタルチェックを行い、一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努めている。又気付いた際には速やかに看護師・かかりつけ医に報告を行っている。   |                            | 利用者一人ひとりのふだんの状態をよく知り、早期発見に努める。  |
| 74                         |      | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | (自己評価)<br>職員は、医療ノートにより一人ひとりが使用している薬についての情報を理解・共有し、利用者の力に応じて支援し、飲み切るまで見守り確認を行っている。又、症状の変化の確認に努め、看護師に報告している。                     |                            |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                              |
|------|------|---|--|----------------------------|---|
| 75   |      | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる    | (自己評価)<br>職員は、便秘予防と対応のために薬に頼るのではなく、繊維質の多い献立や冷乳を飲んだり、温浴法・腹部マッサージを施したり、身体を動かす等の工夫・提案・支援を行っている。   |                            |   |
| 76   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている              | (自己評価)<br>口腔ケアの大切さを理解し、毎食後一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援を行っている。  |                            | ある利用者は、“怖いから自分でやります”と支援困難な方もいらっしゃるのので、今後その方の支援について職員で話し合っ取り組んでいきたい。 |
| 77   | 28   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価)<br>一汁三菜を基本献立として、栄養バランス・水分量が目通じて確保できるよう工夫している。必要時には水分量チェックを行い、水分量の把握に努めている。<br><br>(外部評価)<br>職員が一汁三菜を基準として献立をたてている。栄養バランスに注意しており、時に保健センターの栄養士にチェックしてもらっている。必要な利用者には水分チェックもしている。一人ひとりの状態や力や習慣に応じた支援を職員間で共有し、実践している。 |                            | 保健センターの栄養士などにより、栄養アセスメント・塩分量のチェックを実施し、献立作りに活かしていきたい。                |
| 78   |      | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）       | (自己評価)<br>感染症に対するマニュアルを作成し、それによって予防・防止に努めている。特に年間を通じて毎日、ノロウイルスに対しての清掃（手すり、車椅子、歩行器や椅子など）を行なっている。食事前に手指消毒をしている。  |                            |   |
| 79   |      | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている      | (自己評価)<br>献立を変えたりすることで、新鮮な食材を早めに使い切れるように工夫している。毎日使用した台所用品は、用途・材質に適した方法で消毒を行っている。   |                            |   |

| 自己評価                    | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)            |
|-------------------------|------|---|---|----------------------------|---|
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり |      |   |   |                            |   |
| (1) 居心地のよい環境づくり         |      |   |   |                            |   |
| 80                      |      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | (自己評価)<br>玄関回りには、四季折々に花が見れるよう工夫・手入れされており、段差にはスロープが設けられている。  |                            |   |
| 81                      | 29   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>散歩で摘んだ草花を飾ったり、季節感のある品を飾ったりして生活感や季節感のある暮らしを演出する工夫をしている。<br><br>(外部評価)<br>3ユニットの1つは民家改修型で、生活しやすいよう細々とした工夫が加えられている。ホームのあちこちに草花が生けてあり、インテリアでも季節を感じることができる。陽射しや臭いにも配慮しており、トイレや浴室等の手すりや滑り止めをはじめ、機能が低下している利用者には必要に応じて用具や機器を利用するなど、安全に配慮している。 |                            |   |
| 82                      |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | (自己評価)<br>リビングや廊下には、椅子やソファを配置して、思い思いの場所でくつろげるように工夫している。   |                            |   |
| 83                      | 30   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                    | (自己評価)<br>馴染みの家具・衣類・お仏壇などを自由に持ち込んで頂いて本人が居心地よい空間作りができています。<br><br>(外部評価)<br>家族の協力を得ながら、使い慣れた馴染みのものを持ち込んでいます。タンス、衣装掛け、仏壇、家族の写真、テレビ、三面鏡、絵や書等、それぞれに本人の好みの部屋となる様工夫しています。   |                            | 一部、本人の状態により実現できていない居室もある。今後どうするかご家族とも相談して考えていきたい。 |

| 自己評価                    | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|--|---|----------------------------|--|
| 84                      |      | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価)<br>常に換気には気を配り、設定温度を設けて、それに依りてクーラー等の使用により快適な環境を作っている。又、利用者一人ひとりの好み・状態に応じてこまめに行っている。 |                            |  |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |      |  |   |                            |  |
| 85                      |      | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している          | (自己評価)<br>トイレ・廊下など要所には手すりを設置して、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。段差がないので歩行器や車椅子の自走がスムーズである。    |                            |  |
| 86                      |      | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                    | (自己評価)<br>居室には目線の高さによくわかる表札が掛かっている。又、居室のレイアウトは混乱を防ぐため、変更しないようにしている。                       |                            |  |
| 87                      |      | ○建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                            | (自己評価)<br>建物の外周りは、プランターや植木があり、季節により花や緑が楽しめるようになっている。しかし、現在、殆どの利用者は見て楽しむためのものに限定されている。     |                            |  |

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

| V. サービスの成果に関する項目 |  |   |  |
|------------------|--|---|--|
| 項目               | 取り組みの成果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                      | 判断した具体的根拠   |  |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ① ほぼ全ての利用者の<br>(自己 ② 利用者の2/3くらい<br>評価) ③ 利用者の1/3くらい<br>④ ほとんど掴んでいない | 日々の関わりの中で、利用者の思いの聴き取りに努めていますが、十分にできていない方もいます。その時々思いを受け入れて、大切にしていきたいと思えます。ご家族に、利用者さんが以前から良く話されていた事、望まれていた事、楽しみにされていた事、好きな事、好物などをお聴きして利用者さんへの理解を深めるようにしています。 |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | (自己 ① 毎日ある<br>評価) ② 数日に1回程度ある<br>③ たまにある<br>④ ほとんどない                | 散歩に出かけた時など、世間話をしながらゆったりと過ごしている。ところが、ホームでは職員は立ち働いている姿が忙しく感じられているのではないのでしょうか。立ち止まり、手を休めて、腰を落ち着けて寄り添う時間を増やしていく。   |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない  | 利用者は、思い思いのペースで暮らしていると思う。ホームの一日の流れに随分と馴染んでおられるように感じられる。   |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない  | いろいろな場面で、笑顔がみられます。もっと多くの笑顔がみられ、楽しんで持てる力を発揮できるような場面作りを支援していきたい。   |
| 92               | 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている                           | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない  | 季節(桜、菊、梅)によって、出来るだけ応じていっている。11月に「動物園」へ行く予定です。  |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない  | 職員は、利用者の日頃の様子・状態を把握して、常に見守りを行っている。異変時には、速やかに管理者・看護師に報告、かかりつけ医に連絡している。夜間では、かかりつけ医との連絡体制ができています。   |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない  | 利用者の要望や状況に応じ、職員間で調整したり、申し合わせ、共有することにより、可能なかぎり柔軟に支援している。  |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | (自己 ① ほぼ全ての家族と<br>評価) ② 家族の2/3くらいと<br>③ 家族の1/3くらいと<br>④ ほとんどできていない  | 面会時などお話を伺うようにしているが、家族により利用者との関係に温度差があり、物理的理由等により頻度にも差があるため、充分とは言いがたい。  |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | (自己 ① ほぼ毎日のように<br>評価) ② 数日に1回程度<br>③ たまに<br>④ ほとんどない                | 入居者さんの近所だった方やお友達だった方や近くの幼稚園児が来てくれる。  |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                                     | 判断した具体的根拠   |
|-----|---|---|---|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 1 大いに増えている<br>(自己 ② 少しずつ増えている<br>評価) 3 あまり増えていない<br>4 全くいない           | 町内会長様からは、庭園やイルミネーションを見に来るよう誘っていただき、高齢見守り員様からは、入居者の紹介を受けております。 |
| 98  | 職員は、生き活きと働いている  | 1 ほぼ全ての職員が<br>(自己 ② 職員の2/3くらいが<br>評価) 3 職員の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない       | 職員の確保・定着が難しい。モチベーションに影響していると思います。                             |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | 1 ほぼ全ての利用者が<br>(自己 ② 利用者の2/3くらいが<br>評価) 3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    | 何をもって満足とするかは、一人ひとり違っていると思うが、プラスアルファの部分が今後の課題ではないかと思う。         |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | 1 ほぼ全ての家族等が<br>(自己 ② 家族等の2/3くらいが<br>評価) 3 家族等の1/3くらいが<br>4 ほとんどできていない | 謙虚にサービスの向上を図っていかねばと思う。  |

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

室温、窓の開閉、寝具、衣類、身体上の清潔、食事内容などなど身内にも優る、行き届いた細やかな配慮(心配り)がなされており、認知症の対応も服薬に頼らない寄り添う介護を心掛けているグループホームです。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目  
(評価項目の構成)

## I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

## II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

## III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

## IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

## V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー  
“愛媛県地域密着型サービス評価”

## 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

## ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 有限会社 イヨメディカル

(ユニット名) みゆき2F

記入者(管理者)  
氏名 篠崎 道子

評価完了日 平成 20 年 10 月 28 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

| 自己評価               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)            |
|--------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |      |  |  |                            |   |
| <b>1. 理念と共有</b>    |      |  |  |                            |   |
| 1                  | 1    | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている       | (自己評価)<br>事業所独自の理念を“家訓”としてサービスの核(方針)としている。<br><br>(外部評価)<br>開設時より、馴染みやすいよう「家訓」として理念をつくっており、さらに職員間で話し合っってホーム全体や各ユニットの目標を立て、実践に活かしている。   |                            |   |
| 2                  | 2    | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                          | (自己評価)<br>スタッフルームなど要所に掲示し、ミーティング時には必ず音読し、徹底に努めている。<br><br>(外部評価)<br>「家訓」及び目標は入り口や居間やスタッフルームに掲示している。ミーティング時に確認し合ったり、採用時には教育し、実践に活かすよう取り組んでいる。毎朝鏡拭きをすることにより、平成20年の目標である「笑顔」の確認にもなっている。 |                            | 職員への意識向けには成果がみられるものの、毎日の中で理念に根ざしたケアが実践できるように努めたい。 |
| 3                  |      | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | (自己評価)<br>散歩、買物等日常生活時に「迷惑」を掛けないようにしており、近所の方からは褒められます。  |                            |   |

| 自己評価                         | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| <b>2. 地域との支えあい</b>           |      |  |  |                            |   |
| 4                            |      | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている      | (自己評価)<br>散歩や外出時などお会いした際には、必ず挨拶を交し合う。自宅に余った姫達磨、個人宅にて大き過ぎる絵画を飾って欲しいと提供されたりしている。   |                            |   |
| 5                            | 3    | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている        | (自己評価)<br>ほとんど毎日の散歩で近所の人と顔見知りになり、可愛がられます。<br><br>(外部評価)<br>近所には、町内会長や見守り推進員をはじめ運営推進会議のメンバー等、ホームの運営に理解があり、協力と支援をいただける方が多い。地域行事に参加したり、幼稚園児や高齢者たちとの交流もしている。毎日の散歩時も交流の場となっている。また、ホームがゴミ出しの場所を提供しており、清掃にも努めている。 |                            |   |
| 6                            |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価)<br>微力ですが、社員一同で取り組んでいます。   |                            | シルバーカーを押して、事業所の前や近隣を散歩されているお年寄りさんに気軽に立ち寄ってお茶を飲んで頂いたり、入居者さんとお話して頂けることも模索している。  |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |      |  |  |                            |   |
| 7                            | 4    | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる          | (自己評価)<br>各人は評価の意義を理解し、評価項目を通して振り返り、よい機会となっている。<br><br>(外部評価)<br>運営者及び管理者は評価の意義を充分理解しており、ユニットの責任者は評価項目を通して質の評価や改善点の振り返りを行っている。   | ※                          | 今後、評価を通じて明らかとなった改善点については、施設を挙げて、計画的かつ積極的に取り組んでいきたい。<br><br>より評価の意義を深め、日々の実践に活かしていくためにも、全職員を巻き込んで、評価項目の検討や改善点の計画的な実践に取り組んでいくことを期待する。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------|------|---|--|----------------------------|---|
| 8    | 5    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている         | (自己評価)<br>議題のメインになって、サービスの向上が図れます。<br><br>(外部評価)<br>2か月に1回開催し、ホームの状況報告やタイムリーな情報提供、意見交換等をしている。運営推進会議のメンバーからの情報や意見等については早急に検討している。 |                            |   |
| 9    | 6    | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                          | (自己評価)<br>研修会に於いて同席し、共に取り組んでいます。<br><br>(外部評価)<br>運営推進会議に参加してもらったり、手続き関係で行き来した際に情報交換するなどしている。また、市職員の実習も受け入れている。                  |                            |   |
| 10   |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価)<br>現在は、制度の活用を必要としている利用者はいませんが、ミーティングで勉強をしています。  |                            | 県社会福祉協議会の「サービス向上研修会」に出席し認識を深めています。今後も研修会などに参加し、勉強して確かな知識を持つスタッフを増やして行きたい。                                       |
| 11   |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている          | (自己評価)<br>人としていかなる意味においても、虐待は行われるべきではないと理解できている。しかし、法についてはこれから学んでいきたい。   |                            | 「サービス向上研修会」を受講し、参加したスタッフよりに資料を各ユニットに配布し、認識を持って貰う。高齢者虐待防止関係法について、学ぶ機会を設け周知徹底に努めたい。職員の起用にあたっては「優しさ」を持つ人柄を重要視している。 |

| 自己評価                   | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |   |   |                            |  |
| 12                     |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている    | (自己評価)<br>契約・解約の際には、利用者やその家族等には必ず十分な説明を行い、理解を得た上でやっている。   |                            |  |
| 13                     |      | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>特に施設長が気を使い、努力されている。   |                            |  |
| 14                     | 7    | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価)<br>各々家族来所時には、利用者の暮らしぶり、健康状態、金銭管理等の報告を行っている。又異変時には早急に管理者や看護師より報告を行っている。<br><br>(外部評価)<br>家族の来訪時に情報交換しており、また必要な場合はその都度手紙や電話での連絡もしている。また、状況の変化については管理者や看護師から報告している。 |                            |  |
| 15                     | 8    | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | (自己評価)<br>問題が発生しないよう、それとなく対処できている。<br><br>(外部評価)<br>家族の来訪時の情報交換や電話での対応で察知できることがあるので、意見等を話しやすくなるよう配慮している。意見箱の必要性も感じており、具体的に設置を予定している。                                    | ※                          | 来訪時に意見、要望、苦情等を受け止めるよう努めており、意見箱の設置も予定しているため、今後もより家族が意見等を言いやすいような工夫について検討を続けることを期待したい。 |

| 自己評価        | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)        |
|-------------|------|--|---|----------------------------|---|
| 16          |      | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | (自己評価)<br>月1回のミーティング等の機会では実施されている。  |                            |   |
| 17          |      | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | (自己評価)<br>管理者・交代要員及び職員で調整している。  |                            |   |
| 18          | 9    | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価)<br>配慮は何えるが、交代者がスムーズにいかない場合がある。立ち上げた時より、全てのユニット、全ての入居者さんを把握している管理者が一貫したケアを配慮しており、スタッフの交代による利用者さんのダメージは最小限にとどまっています。<br><br>(外部評価)<br>異動時はマニュアルにそって対応しており、ユニットリーダーが指導にあたりながら、交代による影響を少なくするよう配慮している。  |                            | 交代要員の増員を図っている。                                |
| 5. 人材の育成と支援 |      |  |   |                            |   |
| 19          | 10   | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | (自己評価)<br>研修の案内の掲示等を行い、希望に応じて勤務調整を行い、職員のレベルアップを支援している。<br><br>(外部評価)<br>研修案内を掲示して、勤務を調整しながら職員の希望や上司の勧めで受講している。受講内容の報告や伝達等で学びを共有している。現場を重視した年間教育計画はまだないが、毎月の職員会議で勉強会の時間を設けており、現場の実践に即した内容で、職員の質の向上を目指している。 |                            | 本年は勤務体制に研修を組み込み、より積極的な受講を支援し、職員のレベルアップを図っている。 |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 20                               | 11   | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価)<br>研修会や勉強会を通じて少しずつ図れている。他のGHとグルーピングを行なって交流し、良いところを学び合っている。<br><br>(外部評価)<br>研修会や勉強会を通じて少しずつ交流を深めている。相互に行き来したり話し合うこともできており、相互研修のノートに記載して職員が共有している。 |                            |  |
| 21                               |      | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | (自己評価)<br>親睦会の開催や、勤務表を組む時に連休を折り込み、職員のリラックスタイムを提供している。  |                            |  |
| 22                               |      | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | (自己評価)<br>研修や勉強会の参加、役職の起用、特別手当、及び昇給等で感じられる。  |                            |  |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>     |      |   |  |                            |  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |   |  |                            |  |
| 23                               |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | (自己評価)<br>変化があれば分かるので、何が言いたくてしたいのかを聞き、納得されるまで対応している。提供された資料がある場合は参考にし、今迄の経験や知識をかんがみ、五感より本人さんの心の声を汲み取り散歩に出て、さり気なく、お聴きする。                                  |                            |  |
| 24                               |      | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | (自己評価)<br>面会に来られた際に、ご家族とはよく話しができています。  |                            |  |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                     |
|----------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 25                               |      | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | (自己評価)<br>職員同士で話し合い、すぐに対応している。   |                            |  |
| 26                               | 12   | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価)<br>サービス開始前にご家族と相談しており、変化があれば再度ご家族と相談している。<br><br>(外部評価)<br>本人や家族に来院してもらったり、ホームから自宅や病院等へ訪問するなどして、本人や家族と話し合っって個々の状況に対応している。家族との情報交換をはじめ、協力体制を大切にしている。                         |                            |  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |  |  |                            |  |
| 27                               | 13   | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | (自己評価)<br>敬老の精神をもって利用者に相対し、場面によっては教えて頂いたり本人の力を発揮できる機会作りに配慮し、支え合い、共に暮らす関係を築いている過程である。<br><br>(外部評価)<br>共に生活する関係を大切にし、本人の力を発揮できる場面づくりに努めている。職員は、教えてもらうことも多いと感じており、利用者の生活の知恵を大切にしている。 |                            |  |
| 28                               |      | ○本人と共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                 | (自己評価)<br>各々家族来所時には近況を話し合い、利用者を共に支え合う関係として認識して頂けると思う。  |                            | 本人さんの生活の歴史をお聴きする中で、常日頃口にされていた言葉や好みや望みをお話して頂き、ケアプランに反映していく。 |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)         |
|------------------------------------|------|--|--|----------------------------|--|
| 29                                 |      | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | (自己評価)<br>情報交換をしている。   |                            |  |
| 30                                 |      | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | (自己評価)<br>昔話しや子供さんや姉妹、兄弟の事について話すると、特に喜ばれる。たまに電話を掛けてあげると嬉しそうに話している。   |                            |  |
| 31                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | (自己評価)<br>利用者同士の相性や関係を把握し、ときに職員が間に入りフォローすることで、互いに助け合って暮らしているように努めている。  |                            |  |
| 32                                 |      | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価)<br>契約が終了して、更に関わりが必要な方がいない。  |                            | 発生した場合は、考えて対処したい。                              |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |                            |  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                 |      |  |  |                            |  |
| 33                                 | 14   | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                   | (自己評価)<br>利用者との日々の関わりの中で聴き取ったり、本人の言葉の中から見つけて汲み取っていくなどその時々のお思いや意向の把握に努めている。<br><br>(外部評価)<br>利用者との日々の生活の中で、言葉や態度から意向を汲み取り、把握するようにしている。必要に応じて、センサー方式のシートを利用して個々の情報を記録し、共有している。 |                            | 利用者一人ひとりにシートを作り、職員各々が得た情報を記録し、共有できるような方向で検討する。 |

| 自己評価                           | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                         |
|--------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 34                             |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | (自己評価)<br>サービス利用者の相談の段階で、十分な聞き取りがまずできていない。日々の関わりの中で断片を拾い集め、スタッフ間での情報交換や伝達に依り、把握に努めている。  |                            | センター方式、基本情報シート等の活用するなど、具体的に情報収集の手段を検討する。                       |
| 35                             |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | (自己評価)<br>利用者との日々の関わりの中で、本人の心身状態・有する力等を職員各自の気づきを大切に、共有することで利用者の全体像の把握に努めている。  |                            |  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し |      |   |   |                            |  |
| 36                             | 15   | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | (自己評価)<br>毎日、ミーティング時にカンファレンスを行い、意見交換して介護計画を作成し、家族に説明の上承認して得ている。<br><br>(外部評価)<br>事前に本人や家族の意向を把握し、カンファレンスで意見交換しながら介護計画を作成している。また、家族や本人に説明や了解を得ている。 |                            | 事前に利用者本人、家族と話し合い、それぞれの意向(気持ち)を介護計画に盛り込んで、利用者のためにより良いものにしていきたい。 |
| 37                             | 16   | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価)<br>介護計画の期間に応じて評価・見直しは行っている。<br><br>(外部評価)<br>介護計画は毎月モニタリングし、半年に一回見直しをするとともに、状況の変化に応じてその都度見直しをしている。   |                            | 利用者の心身状態の変化に応じて、本人家族関係者と話し合い、速やかに新しい介護計画を作成するようにしていきたい。        |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------------|------|--|---|----------------------------|---|
| 38                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | (自己評価)<br>個別にケース記録を記入し、仕事前には必ず一読し、不明な点等は口頭で申し送り、情報を共有している。しかし、口頭での申し送り内容に比べると記録自体は内容に乏しい観あり。                          |                            | ～ただけの記録ではなく、内容をもっと工夫・充実することが必要ではないかと思う。今後、様式・記録方法など改善していきたい。例) 本人の言葉・気づき・工夫・考察など。 |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |      |  |   |                            |   |
| 39                                 | 17   | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | (自己評価)<br>要望に対応できている。<br><br>(外部評価)<br>本人や家族の要望に応じた柔軟な支援に努めている。墓参り、希望の買い物、馴染みの理美容の利用、カラオケ、行事ごとの外出、外泊や帰省、旅行等多岐にわたっている。 |                            |   |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |  |   |                            |   |
| 40                                 |      | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | (自己評価)<br>運営推進会議に民生委員や町内会長さんの出席が得られて、理解を深めて頂いております。   |                            | 現在は適切なケアに依り、介護が困難な徘徊事例はないが、運営推進会議に警察官（近隣の交番）の出席を仰ぎ、顔馴染みの関係を築いておきたい。               |
| 41                                 |      | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | (自己評価)<br>必要に応じて対処可能です。   |                            |   |
| 42                                 |      | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価)<br>必要に応じて協働可能です。   |                            |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|----------------------------|--|
| 43   | 18   | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                           | (自己評価)<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と連携して、適切な医療を受けられるように支援している。異変時には電話して常に連絡・対応できる体制を築いている。<br><br>(外部評価)<br>本人や家族の希望のかかりつけ医と連携を図り、適切な医療を受けられるよう支援している。協力医療機関から2週間に1回の訪問があり、常に連携がとれている。 |                            |  |
| 44   |      | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している                         | (自己評価)<br>週2回、心療内科医の定期往診あり。利用者の心身状態の変化に応じて、(家族と相談・了承の上で) 随時、相談・診断・治療を受けられる。   |                            |  |
| 45   |      | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている  | (自己評価)<br>常勤の看護師により、利用者の日常の健康管理・医療活用の支援をしている。   |                            |  |
| 46   |      | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価)<br>利用者に対して協働及び連携は図れている。  |                            |  |
| 47   | 19   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している              | (自己評価)<br>ミーティングにおいて、施設長より方針については聞いている。<br><br>(外部評価)<br>「ターミナルケア」マニュアルを作成し、職員は方針を理解している。まだ終末期に対応した事例はないが、今後の取り組みに向けて検討を続けていく予定である。   | ※                          | マニュアルにそった具体的な検討や、職員の教育を続けていくことを期待する。   |

| 自己評価                      | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|---------------------------|------|---|--|----------------------------|--|
| 48                        |      | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価)<br>ミーティングの際、施設長より具体的な取り組みについて何度も話し合いをしている。  |                            |  |
| 49                        |      | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | (自己評価)<br>今回、ユニット間異動の利用者に関しては、情報交換を行い、馴染みの職員による継続的ケアを行い、住み替えによるダメージの軽減に努めた。  |                            | ホーム外への住み替え時も利用者のダメージ防止の為に情報提供には協力していきたい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |   |  |                            |  |
| 1. その人らしい暮らしの支援           |      |   |  |                            |  |
| (1) 一人ひとりの尊重              |      |   |  |                            |  |
| 50                        | 20   | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない  | (自己評価)<br>利用者一人ひとりのプライドやプライバシーを尊重した言葉かけを常に心がけている。居室への出入り・トイレ時など常にノック・声かけをしてから行っている。<br><br>(外部評価)<br>利用者一人ひとりを尊重し、言葉や態度には十分気を付けている。取り扱う書類や記録物の管理も適切に行っている。 |                            |  |
| 51                        |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている  | (自己評価)<br>利用者本人の意志を尊重し、本人の意志力に応じて選択・納得できるように説明・言葉かけに工夫・配慮し、答えを待つ時間を大切にしている。(沢山の中からの選択ではなくて2つの中からどちらかを選んで頂くようにしている。)  |                            |  |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                      |
|-------------------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| 52                            | 21   | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価)<br>ケアプランに基づく、個々のペースで生活できるように支援している。その時々で過ごし方を提案して、選んで頂いたり、本人からの希望を声に出して頂けるような雰囲気作りに努めている。<br><br>(外部評価)<br>個々の利用者のペースを大切にして、楽しく希望にそった生活が送れる支援を目指している。                 |                            |   |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |      |  |  |                            |   |
| 53                            |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている            | (自己評価)<br>定期的にごまめに訪問美容を利用して、思い思いのスタイルを楽しまれている。その人らしい身だしなみ・おしゃれができるように本人に選択をまかせてさりげなくフォローしている。  |                            |   |
| 54                            | 22   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | (自己評価)<br>利用者の好み・力に応じて、献立作り・準備・食事・片付けを一緒に行っている。<br><br>(外部評価)<br>利用者の好みを取り入れた献立を立て、調理、配膳、片付け等力に応じて一緒に作業している。職員と利用者は共に食事をしながら、できるだけ経口摂取するよう必要に応じて支援している。時には手作り弁当持参で外出することもある。 |                            |   |
| 55                            |      | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している            | (自己評価)<br>①行事時には飲酒も楽しまれている方もいる。②おやつはリクエストを聞いたりして手作りしている。③パンやお菓子、密柑など望まれる方には対応している。④喫煙に関しては、健康上・管理上の問題もあり、支援しにくい。   |                            | 今後は喫煙される入居者の入居には喫煙を好まない入居者の気持ちにも対応しながらリビングの一隅での喫煙を検討して行きたい。 |

| 自己評価                          | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 56                            |      | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している       | (自己評価)<br>一人ひとりの排泄状態に応じて、布パンツ・紙パンツ・パットを組み合わせて使用し、スムーズな排泄ができるように支援している。  |                            |  |
| 57                            | 23   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | (自己評価)<br>職員配置の問題もあり、曜日・時間帯は決まっているが、湯温・湯量・習慣等はできるだけ利用者の希望に添えるよう配慮している。<br><br>(外部評価)<br>午後の時間帯に入浴している。利用者の具体的な希望にそって支援し、夏は夜にシャワーを利用する利用者もいる。行動が少しずつ制限されて来ている利用者もいるが、必要に応じて2人の介助で入浴するなど、安全に楽しく入浴できるよう配慮している。 |                            |  |
| 58                            |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                    | (自己評価)<br>寝つきの悪い方には、側に付き添って安眠できるように配慮している。一人ひとりの生活ペースや体調等により、思い思いに休息できるように支援している。   |                            | 昼夜逆転傾向のある利用者に対しての支援を考えていきたい。           |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |      |   |   |                            |  |
| 59                            | 24   | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価)<br>一人ひとりの好み・力に応じて、役割や楽しみの中で力を発揮できる場면을演出・支援している。<br><br>(外部評価)<br>一人ひとりの生活歴を知り、力量に応じた役割や楽しみごとで充実した生活を送れるような支援に心がけている。草抜き、掃除、洗濯物たたみ、食事の準備や片付け、新聞紙折等個々に対応している。  |                            |  |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                           |
|------|------|--|--|----------------------------|--|
| 60   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | (自己評価)<br>利用者のお金は、現在事業所で管理している。  |                            | お金を持つことの大切さ・遣う楽しさもあるので、お買物ツアーを企画したり、一人ひとりの力で希望に応じて支援していく方向で検討する。 |
| 61   | 25   | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | (自己評価)<br>日常的に一人ひとりの希望に応じて、散歩や買物に出る等戸外に出かけられるように支援している。(行くか行かないか、行き先はある程度限定されている。)<br><br>(外部評価)<br>毎日1回は戸外に出かけられるよう配慮している。利用者の個々の希望に応じて散歩や買い物に出ている。利用者の機能が少しずつ低下しており、全員で外出することが困難となっているが、個別に支援している。 |                            |  |
| 62   |      | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価)<br>お墓参り、お寺(石手寺等)、菊花展、桜見物、温泉、足湯(道後)、大洲城、鹿島、大衆演劇場、ドライブなど外出を支援している。  |                            |  |
| 63   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                           | (自己評価)<br>利用者よりの希望に応じて電話をかける等の支援は行っている。<br>手紙が書ける方には切手を用意したり、車椅子でポストへ投函されるのを援助している。  |                            |  |
| 64   |      | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している            | (自己評価)<br>家族や馴染みの人が、気軽に訪問して頂けるように雰囲気作り・接遇に配慮している。  |                            |  |

| 自己評価            | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)             |
|-----------------|------|---|---|----------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 |      |   |   |                            |  |
| 65              |      | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価)<br>全職員で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。緊急やむを得ない場合は説明し、同意書を家族より取り付けている。                  |                            | “～具体的行為”について改めて学び、正しく理解して実践していきたい。                 |
| 66              | 26   | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | (自己評価)<br>居室には施錠していない。<br><br>(外部評価)<br>職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアの実践をしている。    |                            |  |
| 67              |      | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | (自己評価)<br>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握しながら、職員間で声かけ合って目くばり・気くばり・心くばりに努めている。 |                            |  |
| 68              |      | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | (自己評価)<br>注意の必要な物品は職員により管理されているが、一人ひとりの力・希望に応じて貸し出す（使用時は見守り、返却確認）ことにしている。         |                            |  |
| 69              |      | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | (自己評価)<br>ヒヤリハット報告書を作成し、事故原因となるリスク解消について、職員間で話し合い事故防止に努めている。                      |                            | 今後、利用者一人ひとりの状態に応じて、どんな事故が起こりうるか、職員間で話し合い事故防止に努めたい。 |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目   | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                    |
|----------------------------|------|--|--|----------------------------|---|
| 70                         |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                 | (自己評価)<br>事業所内の看護師により、応急手当等の訓練・研修を行いつつ、マニュアル化している。消防署の協力を得て「救命」講習を実施(修了)しました。  |                            | マニュアルを何度も読み返すことをスタッフに認識して貰う。  |
| 71                         | 27   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている   | (自己評価)<br>消防署が近く、積極的及び具体的に協力して頂いております。<br><br>(外部評価)<br>年2回の防災訓練を消防署の協力を得て実施している。地域の協力を得られる体制は整っている。現在のところ、夜間を想定しての訓練は実施していない。 | ※                          | 夜間を想定しての具体的な訓練実施を期待する。また、非常災害時の対策として具体的な訓練や備蓄を含めた対策を検討し、さらにマニュアルの充実を期待する。 |
| 72                         |      | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | (自己評価)<br>一人ひとりの起こり得るリスクについて、看護師と管理者より家族と話しています。   |                            |   |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |      |  |  |                            |   |
| 73                         |      | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | (自己評価)<br>毎日、定時にバイタルチェックを行い、一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努めている。又気付いた際には速やかに看護師・かかりつけ医に報告を行っている。スタッフ間においては、申し送りおよび、申し送りノートにて異変を共有し見守る。     |                            | 利用者一人ひとりのふだんの状態をよく知り、早期発見に努める。看護師とスタッフの情報共有の為、専用ノートを作りました。                |
| 74                         |      | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | (自己評価)<br>職員は、医療ノートにより一人ひとりが使用している薬についての情報を理解・共有し、利用者の力に応じて支援し、飲み切るまで見守り確認を行っている。又、症状の変化の確認に努め、看護師に報告している。                     |                            | 「薬の本」を常備して、より詳細な効能、副作用を調べて理解し、室の高い介護につなげて行く。                              |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                              |
|------|------|---|---|----------------------------|---|
| 75   |      | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる    | (自己評価)<br>職員は、便秘予防と対応のために薬に頼るのではなく、繊維質の多い献立や冷乳を飲んだり、温浴法・腹部マッサージを施したり、身体を動かす等の工夫・提案・支援を行っている。  |                            |   |
| 76   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている              | (自己評価)<br>口腔ケアの大切さを理解し、毎食後一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援を行っている。歯科衛生士に磨き方を指導して貰ったり、口腔内清涼剤を使用している方も居ます。   |                            | ある利用者は、“怖いから自分でやります”と支援困難な方もいらっしゃるので、今後その方の支援について職員で話し合って取り組んでいきたい。 |
| 77   | 28   | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価)<br>一汁三菜を基本献立として、栄養バランス・水分量が一目通じて確保できるよう工夫している。必要時には水分量チェックを行い、水分量の把握に努めている。<br><br>(外部評価)<br>職員が一汁三菜を基準として献立をたてている。栄養バランスに注意しており、時に保健センターの栄養士にチェックしてもらっている。必要な利用者には水分チェックもしている。一人ひとりの状態や力や習慣に応じた支援を職員間で共有し、実践している。 |                            | 保健センターの栄養士などにより、栄養アセスメント・塩分量のチェックを実施し、献立作りに活かしていきたい。                |
| 78   |      | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）       | (自己評価)<br>感染症に対するマニュアルを作成し、それに従って予防・防止に努めている。特に年間を通じて毎日、ノロウイルスに対しての清掃（手すり、車椅子、歩行器や椅子など）を行なっている。食事前に手指消毒をしている。   |                            |   |
| 79   |      | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている      | (自己評価)<br>献立を変えたりすることで、新鮮な食材を早めに使い切れるように工夫している。毎日使用した台所用品は、用途・材質に適した方法で消毒を行っている。  |                            |   |

| 自己評価                           | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)            |
|--------------------------------|------|---|---|----------------------------|---|
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |      |   |   |                            |   |
| <b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>         |      |   |   |                            |   |
| 80                             |      | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | (自己評価)<br>玄関回りには、四季折々に花が見れるよう工夫・手入れされており、段差にはスロープが設けられている。  |                            |   |
| 81                             | 29   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価)<br>散歩で摘んだ草花を飾ったり、季節感のある品を飾ったりして生活感や季節感のある暮らしを演出する工夫をしている。<br><br>(外部評価)<br>3ユニットの1つは民家改修型で、生活しやすいよう細々とした工夫が加えられている。ホームのあちこちに草花が生けてあり、インテリアでも季節を感じることができる。陽射しや臭いにも配慮しており、トイレや浴室等の手すりや滑り止めをはじめ、機能が低下している利用者には必要に応じて用具や機器を利用するなど、安全に配慮している。 |                            |   |
| 82                             |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | (自己評価)<br>リビングや廊下には、椅子やソファを配置して、思い思いの場所でくつろげるように工夫している。   |                            |   |
| 83                             | 30   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | (自己評価)<br>馴染みの家具・衣類・お仏壇などを自由に持ち込んで頂いて本人が居心地よい空間作りができています。<br><br>(外部評価)<br>家族の協力を得ながら、使い慣れた馴染みのものを持ち込んでいる。タンス、衣装掛け、仏壇、家族の写真、テレビ、三面鏡、絵や書等、それぞれに本人の好みの部屋となる様工夫している。   |                            | 一部、本人の状態により実現できていない居室もある。今後どうするかご家族とも相談して考えていきたい。 |

| 自己評価                    | 外部評価 | 項目  | 取組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ※印<br>(取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|---|---|----------------------------|--|
| 84                      |      | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価)<br>常に換気には気を配り、設定温度を設けて、それに応じてクーラー等の使用により快適な環境を作っている。又、利用者一人ひとりの好み・状態に応じてこまめに行っている。 |                            |  |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |      |   |   |                            |  |
| 85                      |      | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している         | (自己評価)<br>トイレ・廊下など要所には手すりを設置して、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。段差がないので歩行器や車椅子の自走がスムーズである。    |                            |  |
| 86                      |      | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                   | (自己評価)<br>居室には目線の高さによくわかる表札が掛かっている。又、居室のレイアウトは混乱を防ぐため、変更しないようにしている。                       |                            |  |
| 87                      |      | ○建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                           | (自己評価)<br>建物の外回りは、プランターや植木があり、季節により花や緑が楽しめるようになっている。しかし、現在、殆どの利用者は見て楽しむためのものに限定されている。     |                            | ベランダ園芸など自分で種をまき、育てる楽しみにも徐々に取り組んでいる。    |

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

| V. サービスの成果に関する項目 |  |   |  |
|------------------|--|---|--|
| 項目               | 取り組みの成果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                      | 判断した具体的根拠   |  |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ① ほぼ全ての利用者の<br>(自己 ② 利用者の2/3くらい<br>評価) ③ 利用者の1/3くらい<br>④ ほとんど掴んでいない | 日々の関わりの中で、利用者の思いの聴き取りに努めていますが、十分にできていない方もいます。その時々思いを受け入れて、大切にしていきたいと思えます。ご家族に、利用者さんが以前から良く話されていた事、望まれていた事、楽しみにされていた事、好きな事、好物などをお聴きして利用者さんへの理解を深めるようにしています。 |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | (自己 ① 毎日ある<br>評価) ② 数日に1回程度ある<br>③ たまにある<br>④ ほとんどない                | 散歩に出かけた時など、世間話をしながらゆったりと過ごしている。ところが、ホームでは職員は立ち働いている姿が忙しく感じられているのではないのでしょうか。立ち止まり、手を休めて、腰を落ち着けて寄り添う時間を増やしていく。   |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない  | 利用者は、思い思いのペースで暮らしていると思う。ホームの一日の流れに随分と馴染んでおられるように感じられる。   |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない  | いろいろな場面で、笑顔がみられます。もっと多くの笑顔がみられ、楽しんで持てる力を発揮できるような場面作りを支援していきたい。   |
| 92               | 利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている                           | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない  | 季節(桜、菊、梅)によって、出来るだけ応じていっている。11月に「動物園」へ行く予定です。  |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない  | 職員は、利用者の日頃の様子・状態を把握して、常に見守りを行っている。異変時には、速やかに管理者・看護師に報告、かかりつけ医に連絡している。夜間では、かかりつけ医との連絡体制ができています。   |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | (自己 ① ほぼ全ての利用者が<br>評価) ② 利用者の2/3くらいが<br>③ 利用者の1/3くらいが<br>④ ほとんどいない  | 利用者の要望や状況に応じ、職員間で調整したり、申し合わせ、共有することにより、可能なかぎり柔軟に支援している。  |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | (自己 ① ほぼ全ての家族と<br>評価) ② 家族の2/3くらいと<br>③ 家族の1/3くらいと<br>④ ほとんどできていない  | 面会時などお話を伺うようにしているが、家族により利用者との関係に温度差があり、物理的理由等により頻度にも差があるため、充分とは言いがたい。  |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | (自己 ① ほぼ毎日のように<br>評価) ② 数日に1回程度<br>③ たまに<br>④ ほとんどない                | 入居者さんの近所だった方やお友達だった方や近くの幼稚園児が来てくれる。  |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                                     | 判断した具体的根拠   |
|-----|---|---|---|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 1 大いに増えている<br>(自己 ② 少しずつ増えている<br>評価) 3 あまり増えていない<br>4 全くいない           | 町内会長様からは、庭園やイルミネーションを見に来るよう誘っていただき、高齢見守り員様からは、入居者の紹介を受けております。 |
| 98  | 職員は、活き活きと働いている  | 1 ほぼ全ての職員が<br>(自己 ② 職員の2/3くらいが<br>評価) 3 職員の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない       | 職員の確保・定着が難しい。モチベーションに影響していると思います。                             |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | 1 ほぼ全ての利用者が<br>(自己 ② 利用者の2/3くらいが<br>評価) 3 利用者の1/3くらいが<br>4 ほとんどいない    | 何をもって満足とするかは、一人ひとり違っていると思うが、プラスアルファの部分が今後の課題ではないかと思う。         |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | 1 ほぼ全ての家族等が<br>(自己 ② 家族等の2/3くらいが<br>評価) 3 家族等の1/3くらいが<br>4 ほとんどできていない | 謙虚にサービスの向上を図っていかねばと思う。  |

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

室温、窓の開閉、寝具、衣類、身体上の清潔、食事内容などなど身内にも優る、行き届いた細やかな配慮(心配り)がなされており、認知症の対応も服薬に頼らない寄り添う介護を心掛けているグループホームです。